

基準範囲の記載を省略できる検査項目

領域	検査項目(略語)	検体	単位	学生用基準範囲	学生用備考	作成者備考	
血液学的検査	赤血球沈降速度	全血	mm/hour	M: 10未満 F: 15未満		臨床検査法提要第32版	
	赤血球数<RBC>		10 ⁹ /μL	M: 4.0~5.5 F: 3.5~5.0		易記憶数値化	
	血色素測定<Hb>		g/dL	M: 14~18 F: 12~16		易記憶数値化	
	ヘマトクリット値<Ht>		%	M: 40~50 F: 35~45		易記憶数値化	
	平均赤血球容積<MCV>		fL	80~100		易記憶数値化	
	平均赤血球ヘモグロビン<MCH>		pg	30~35		易記憶数値化	
	平均赤血球ヘモグロビン濃度<MCHC>		g/dL	30~35		易記憶数値化	
	網赤血球<Ret>		%	0.2~2.0		易記憶数値化	
	白血球数<WBC>		10 ³ /μL	3.5~9.0		易記憶数値化	
	末梢血液像		桿状核好中球	%	0~5		易記憶数値化
			分葉核好中球		40~70		
			好酸球		1~5		
			好塩基球		0~1		
			単球		0~10		
リンパ球		20~50					
血小板数	10 ⁴ /μL	15~35		易記憶数値化			
生化学的検査	グルコース<BS>	血漿	mg/dL	80~110未満*	空腹時血糖、NaF採血。 * 上限値は糖尿病学会(2010年)の正常型の病態識別上限値 境界型=110-125mg/dL 糖尿病型=126mg/dL	空腹時血糖/NaF採血 福岡県五病院会1995年 上限値は病態識別値(糖尿病学会)2008年	
	総蛋白<TP>	血清	g/dL	6.5~8.0		易記憶数値化	
	アルブミン<Alb>		g/dL	4.0~5.0		福岡県五病院会1995年	
	蛋白分画		アルブミン	%	60~70		易記憶数値化
			α ₁ -グロブリン		2~3		
			α ₂ -グロブリン		5~10		
			β-グロブリン		7~10		
			γ-グロブリン		10~20		
	尿素窒素<UN>		mg/dL	8~20		福岡県五病院会1995年	
	クレアチニン<Cr>		mg/dL	M: 0.5~1.0 F: 0.4~0.8		易記憶数値化	
	尿酸<UA>		mg/dL	M: 3.5~7.0 F: 2.5~6.0	日本痛風・核酸代謝学会の高尿酸血症・痛風治療のガイドラインでは、高尿酸血症は、性・年齢を問わず血清尿酸値が7.0mg/dLを超えるものと定義されていることも留意する	易記憶数値化。基準範囲は性差がある	
総コレステロール<TC>	mg/dL		130~220未満*	上限値は病態識別値(動脈硬化性疾患診療ガイドライン2002年版)	下限値は易記憶数値化。上限値は病態識別値 動脈硬化性疾患診療ガイドライン2002年版		
トリグリセリド<TG>	mg/dL	30~150未満*	上限値は病態識別値(動脈硬化性疾患診療ガイドライン2007年版)	下限値は福岡県五病院会1995年 上限値は病態識別値 動脈硬化性疾患診療ガイドライン2007年版			

領域	検査項目(略語)	検体	単位	学生用基準範囲	学生用備考	作成者備考
生化学的検査	HDL-コレステロール <HDL-C>	血清	mg/dL	40* ~ 100	下限値は病態識別値 (動脈硬化性疾患診療 ガイドライン2007年版)	下限値は病態識別値 動脈硬化性疾患診療ガイド ライン2007年版 上限値は易記 憶数値化。
	総ビリルビン <T-Bil>		mg/dL	0.2~1.2*	上限値は病態識別値 (体質性黄疸の鑑別上)	下限値は福岡県五病院会1995 上限値は病態識別値 体質性黄疸の鑑別上
	直接ビリルビン <D-Bil>		mg/dL	0.4未満		酵素法(アルフレッサ・ファーマ) 九大病院職員検診 1995
	間接ビリルビン<I- Bil>		mg/dL	0.8未満		臨床検査法提要第32版
	アスパラギン酸アミノ トランスフェラーゼ <AST>		U/L	10~35		易記憶数値化。
	アラニンアミノトランス フェラーゼ <ALT>		U/L	5~30*	上限値は病態識別値 (病理学的所見上・日本 肝臓学会 正常上限値)	下限値は易記憶数値化。 上限値は病態識別値 病理学的所見上・日本肝臓学 会 正常上限値
	ナトリウム<Na>		mmol/L	135~145		易記憶数値化。
	カリウム <K>		mmol/L	3.5~4.5		易記憶数値化。
	クロール <Cl>		mmol/L	100~110		易記憶数値化。
	カルシウム <Ca>		mg/dL	8.5~10.0		易記憶数値化。
	無機リン <Pi>		mg/dL	2.0~4.0		易記憶数値化。
	鉄 <Fe>		μg/dL	M: 60~200 F: 40~180		易記憶数値化。
血液ガス分析	pH	全血		7.35~7.45		臨床検査法提要第32版
	PaCO ₂		Torr	35~45		
	PaO ₂		Torr	80~100		
	HCO ₃ ⁻		mmol/L	22~26		
免疫学的検査	C反応性蛋白<CRP>	血清	mg/dL	0.1以下		九大病院職員検診2005

基準範囲は健常人(基準個体)が示す検査値(基準値)の正規分布95%信頼限界(中心値±2SD)で表現される。正確な定義に関しては、臨床病理45: 1154-1159, 2002を参照のこと。今回参考のために収集した基準範囲は、福岡県共有基準範囲、慶応病院及び系列病院の基準範囲、長野県の共有基準範囲、アジア各国の基準範囲群(山口大学市原教授提供)、文献として臨床検査法提要第32版等である。病態識別値は各学会(グルコース=日本糖尿病学会、尿酸=日本プリン・ヒリミジン代謝学会コンセンサスカンファレンス、トリグリセリド・HDL-C=動脈硬化性疾患診療ガイドライン2007年版、総コレステロール=動脈硬化性疾患診療ガイドライン2002年版、ALT=日本肝臓学会 正常上限値)から出されている臨床判断値である。病態識別値には*を付加している。